



### 商工中金景況調査（2022年8月調査・定例分）の公表について

商工中金は概ね四半期に一度、中小企業の景況感をはじめとする実態把握のため景況調査を実施しており、今般、2022年8月調査のうち毎回共通の質問項目（定例分）の結果について公表しました。

#### <2022年8月の景況感>

#### 8月の景況感は、前回並みの小幅「悪化」超

8月の景況判断指数は、輸送用機器で「悪化」超幅が縮小する一方、飲食・宿泊は「好転」超幅が縮小し、全体では47.1と前回並みの小幅「悪化」超となりました。

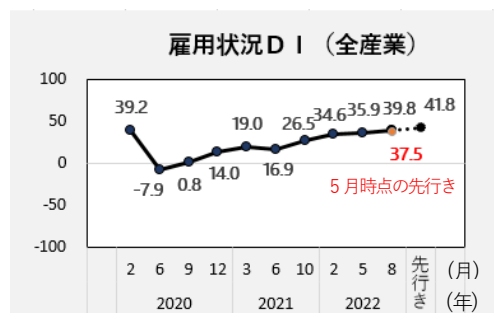
先行きの景況判断指数は、49.5まで持ち直す見通しとなっています。



#### <2022年8月の業況判断>

#### 【雇用状況】「不足」超幅の拡大が続き、 コロナ影響が深刻化する直前の2020年2月を上回った

雇用状況DIは、2020年6月に「過剰」超に振れた後はほぼ一貫して「不足」超幅の拡大が続いており、今回調査では39.8とコロナ影響が深刻化する直前である2020年2月調査の39.2を上回りました。



- ・本編資料は[こちら](#)をご覧ください。
- ・トピックス調査分(中小企業の人材育成の状況について<仮>)は10月上～中旬頃公表予定です。